

Speaking the same language
for high quality care

世界水準から学ぶ 地域包括ケア時代の アセスメントツール



世界30カ国の高齢者ケアの専門家が参加した国際的な非営利組織 interRAI (インターライ <http://www.interrai.org/>) が多職種での共通言語として開発したアセスメントツールMDS (Minimum Data Set) の最新日本語版がクラウドサービスによって提供されています。市区町村の在宅医療・介護連携推進事業や客観的な質の評価など、地域包括ケアの整備を促進する具体的な活用方法を提案します。



インターライ日本
理事長 池上直己
(interRAI fellow
聖路加国際大学
特任教授)

日時 2016年11月26日(土) 13:30~16:00

会場 聖路加国際大学 日野原ホール

参加費 1,000円(資料代) ※NPO会員は無料



プログラム

- インターライ方式アセスメントの特徴と国際的な活用事例
池上直己(聖路加国際大学・特任教授/インターライ日本理事長)
- 潜在的なニーズが見える/ケアプランが変わる
高野龍昭(東洋大学ライフデザイン学部・准教授)
- 地域包括ケアにおける共通言語としての活用
五十嵐歩(東京大学大学院医学系研究科健康科学 看護学専攻・講師)
- ケアサービスの質の可視化と改善(interRAI Quality Indicator)
石橋智昭(ダイヤ高齢社会研究財団・研究部長)

●会場案内

国際会議場「日野原ホール」大村進・美枝子記念
聖路加臨床学術センター地下1階
(最寄駅) 東京メトロ有楽町線 新富町駅・日比谷
線「築地駅」



●主催 特定非営利活動法人インターライ日本 <http://interrai.jp>

●後援 株式会社医学書院
特定非営利活動法人ASP・SaaS・クラウド コンソーシアム
公益財団法人ダイヤ高齢社会研究財団

参加申し込みは裏面用紙にご記入の上、メールまたはFAXにて送信ください

インターライ方式 セミナー 世界水準から学ぶ地域包括ケア時代のアセスメントツール

≪2016年11月26日(土) 聖路加国際大学 日野原ホール≫

参加申込書

所属機関名			
	(同一機関からの複数名参加は、3名まで本用紙で申し込めます)		
フリガナ	①	②	③
氏名			
職種			
MDS／インターライ方式の使用経験	(1) MDS(Minimum Data Set)の使用経験 (あり なし) (2) インターライ方式の使用経験 (あり なし)		

参加証の送付先 (E-mail または FAX のみ) ※複数申込みには一括送付します

	E-mail アドレス	
	FAX 番号	

送信日： 月 日

記入が終わりましたら以下のいずれかで送信してください。

(1) FAX 送信: 03-5919-1641

(本紙をそのまま FAX してください)

(2) E-mail 送信: qi@dia.or.jp

(PDF 等で添付してメールしてください)

※申込み 1 週間を過ぎても参加証が届かない場合は、事務局までご連絡ください

≪受付事務局≫

公益財団法人ダイヤ高齢社会研究財団 QI コンソーシアム(早尾・近岡)

東京都新宿区新宿 1-34-5 VERDE VISTA 新宿御苑 3F

TEL:03-5919-3174 FAX:03-5919-1641

E-mail: qi@dia.or.jp